

ふれあい

編集発行
社会福祉法人 京極町社会福祉協議会
〒044-0121北海道虻田郡京極町字三崎68番地
TEL(0136)42-3681 FAX(0136)41-2031
Eメールアドレス
kyogoku-fukushi@blue.ocn.ne.jp
ホームページアドレス
<http://www.shakyo.or.jp/hp/63/>

この広報は赤い羽根共同募金の助成金で印刷されています。

地域包括ケア
勉強会

「ひろげよう支えあいのまちづくり」

講師 一般社団法人ウェルビー・デザイン 理事長 篠原 辰二氏



「この町のためにわたしたちができることはなんだろう。」町ぐるみで勉強会を行いました。

グループワークでは年代、職業をこえみんな
で話しあいました。

ミニデイサービスにこっと ふきだし公園にて花見



社会福祉法人 京極町社会福祉協議会

平成二十八年度 事業計画

●重点目標

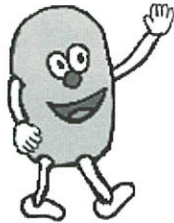
- 「地域の力を信じ、住民の力を活かした地域づくりに貢献しよう」
1. ボランティアの醸成と発掘、マッチングの促進による担い手の拡大を図る
 2. サロン、通いの場等を通じた外出の機会づくりや世代間交流を推進する
 3. 共同募金運動の新たな展開を進める

●重点目標に向けた取り組み

- 食、運動、子育てなど興味関心を活かしたボランティア養成講座の実施
- 小学生など次世代育成のためのボランティア授業の実施
- 介護支援元気ポイント事業の推進
- サロン事業の推進(ふまねつと、ニュースポーツ・寺子屋)
- 未来へつなぐ夢基金を運用し、包括的な福祉の拠点づくりへの着手
- 多くの人の意見を取り入れた共同募金オリジナルグッズの企画
- 共同募金審査委員会による適正な助成

●その他の取り組み

- 役員研修の実施
- 出前講座の実施
- 「ふれあい広場」ほかほかまつり」の開催
- 愛情資金、奨学資金等の生活支援事業の実施
- 福祉センター・コミュニティセンターの管理運営
- 移送・配食・電話・除雪サービスの実施
- 緊急通報システム設置事業
- 除雪ボランティアイベントの開催
- 団休活動の支援(共楽クラブ・身障協会・母子寡婦会・ヘルパーSUNの会)



★出前講座はじめました★

「つながりからうまれる安心のまちづくり」を地域のみなさんと実現するために、「聞いてみたい」「知りたい」「学びたい」ご要望に対し、社協から講師を派遣し講座を開催します。ぜひ、地域活動やボランティアなどにご活用ください。詳しくはお問い合わせいただくか、パンフレット(役場・商工会・福祉センター設置)をご覧ください。

新人職員紹介

今年の4月から新しく社協の職員として働かせていただいております、伊藤瑞恵です。

お仕事を通して地域の方々との関わりを持ることがとても嬉しく感じています。皆さんに自分の名前を呼んでいただけることで、頑張ろうというパワーになっていることを実感しています。一日でも早く皆さんの名前を覚えて、京極町の一員として町の発展に貢献していきたいと考えています。至らない点が多々あると思いますが、一日一日を大切に日々精進したいと思います。



いとう みづえ
伊藤 瑞恵
地域福祉専門員/社会福祉士

平成28年度収支予算

【収入の部】

科 目	予算額 (円)
会 費 収 入	1,300,000
寄 付 金 収 入	1,000,000
補 助 金 収 入	33,777,000
受 託 金 収 入	79,920,000
事 業 収 入	2,133,000
貸 付 事 業 等 収 入	700,000
介 護 保 険 収 入	51,541,000
受 取 利 息 配 当 金 収 入	112,000
積 立 預 金 取 崩 収 入	2,729,000
事 業 区 分 間 繰 入	1,320,000
収 入 合 計	174,532,000

【支出の部】

科 目	予算額 (円)
人 件 費	125,420,000
事 業 費	8,998,000
事 務 費	27,250,000
貸 付 事 業 支 出	800,000
共同募金配分金事業費	2,802,000
助 成 金 支 出	80,000
負 担 金 支 出	214,000
ファイナンスリース債務の返済支出	711,000
積 立 資 産 支 出	6,887,000
事 業 区 分 間 繰 入	1,320,000
予 備 費	50,000
支 出 合 計	174,532,000

平成27年度 決算報告

【貸借対照表】

(平成28年3月31日現在)

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
流動資産	12,102,509	流動負債	7,625,069
現金	32,500	未払金	5,515,788
預貯金	1,307,561	1年以内返済予定	685,225
未収金	10,762,448	預り金	1,422,056
前払金	0	仮受金	2,000
仮払金	0		
固定資産	76,223,513	固定負債	36,399,080
基本財産	1,591,613	リース債務	758,763
定期預金	1,591,613	退職給与引当金	35,640,317
その他の固定資産	74,631,900		
土地	3,000,000		
建物	2,504,641		
機械及び装置	37,501		
車輛運搬具	3		
器具及び備品	1,317,209		
無形リース資産	1,400,001		
退職給付引当資産	31,347,657		
その他の積立金	33,824,727		
福祉基金	1,593,490		
愛情資金積立金	6,538,384		
奨学基金積立金	10,689,413		
未来へつなぐ夢基金	15,003,440		
愛情資金貸付金	1,200,161		
資産の部合計	88,326,022	負債及び純資産の部合計	88,326,022

(単位:円)

【資金収支決算】

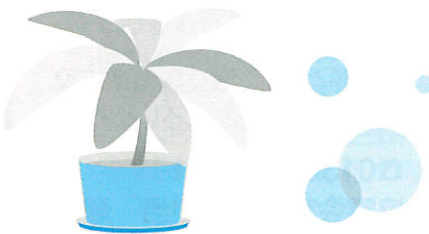
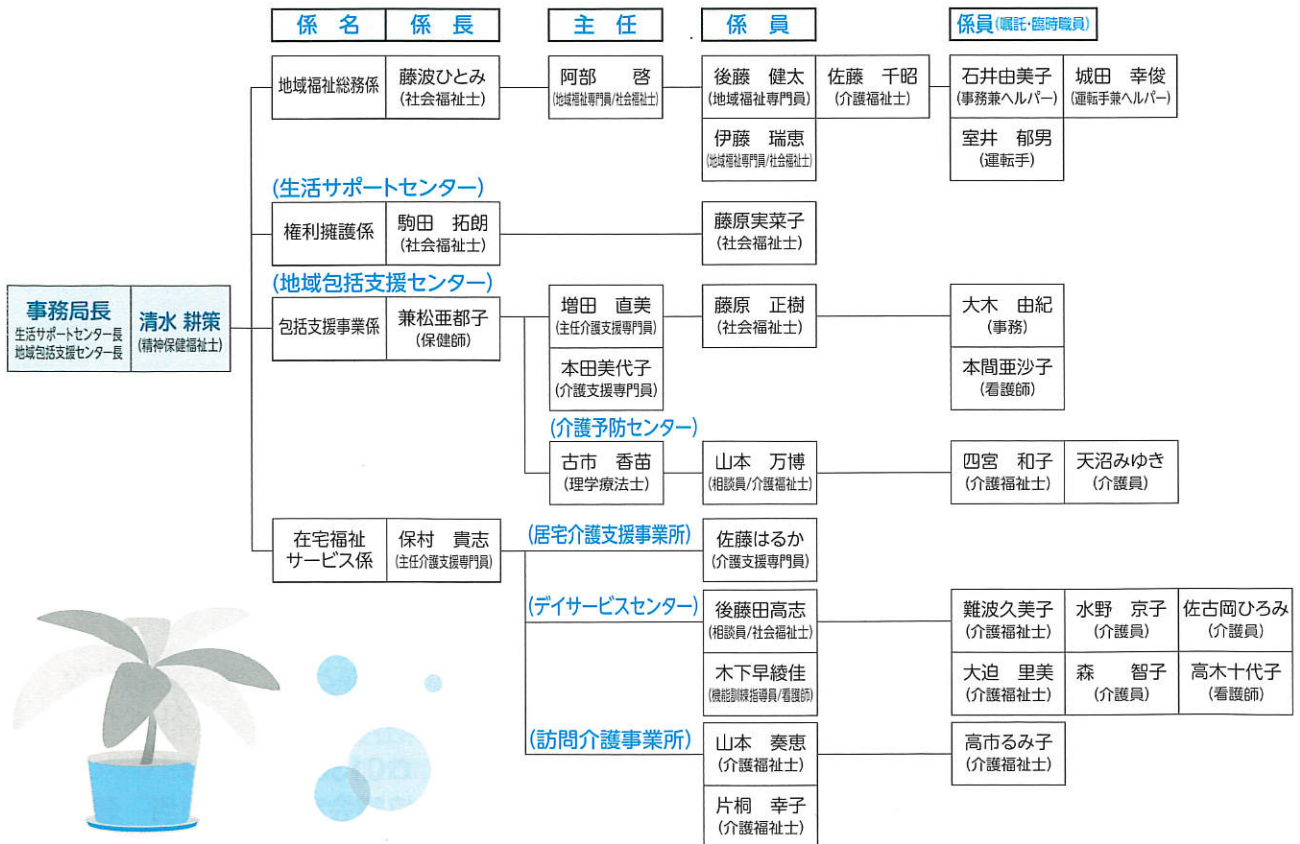
収入の部	決算額
会費収入	1,136,000
寄付金収入	1,049,107
補助金収入	42,256,483
受託金収入	59,374,947
貸付事業等収入	223,000
事業収入	1,366,130
介護保険収入	49,412,887
受取利息配当金収入	12,469
積立資産取崩収入	7,279,000
その他の活動による収入	219,863
収入合計①	162,329,886

支出の部	決算額
人件費支出	116,617,798
事業費支出	7,943,003
事務費支出	22,653,443
貸付事業支出	310,000
共同募金配分金事業費	2,661,484
助成金支出	70,000
負担金支出	217,000
支払利息支出	39,062
固定資産取得支出	5,000,000
ファイナンス・リース債務の返済支出	670,570
積立預金積立支出	1,524,205
支出合計②	157,706,565

繰越金① - ②	4,623,321
-----------------	------------------

(単位:円)

平成28年度京極町社会福祉協議会 職員体制



善意のご寄付ありがとうございます!

【期間:平成27年4月～平成28年3月】

今年度も町民の皆様の温かい御厚志に対して厚くお礼申しあげます。
皆様から寄せられた会費及び寄付・寄贈品は、みんなが安心して暮らせるまちづくりのためにボランティア・市民活動、小地域活動などの事業や、在宅福祉サービス事業などへ活用します。

◎寄付・寄贈報告

(敬称略)

佐藤カツ工	高城 保	佐々木博史	(有)タニファーム	上手トミ子
原田 圭子	有末 義美	境 良晴	添野 春夫	株式会社 高瀬製作所
渡部 安夫	寺子屋サロン	京極町商工会青年部	有限会社 京極石油	佐々木歌子
久保ミドリ	前沢 政次	京極町商工会女性部	京極町母子寡婦会	今野 義美
小谷 睦子	笹原 満雄・三輪 悟	エコ・クラフトの会	土屋 孝文	板谷 重子
十五日会会長 山中弘志	賀川 仁	古屋 清子	大磯ソル工	長谷川 敦
小城 良枝	渡辺チエ子	大木ハツ工	松葉会	山田 静子
中村美智子	清本 良一	林 美枝子	山崎巳代子	加賀谷正子
三谷マサミ	松井 力三	中米ナツ子	京極信友会京極町商工会 青年部合同ピアガーデン	※他匿名者多数

◎一般会計【町内世帯】 計1,132戸

◎賛助会員【個人】

(敬称略)

松長 正憲	阿部 鋭右	富成 邦彦	横川 広	大場美智子
西方 清徳	竹浪クニ子	夢田 英利	櫻 彰	山田 雅
石井 静男	安藤 博	笹原 満雄	菊地 憲一	佐藤 明
関 作治	中村美智子	堅田芙美子	池元 豊	柳原 保
堅田 光良	大清水昭子	小林 一男	久保 英雄	篠原 政彦
有末 義美	長谷川 敦	灘 祐利	柴山 悟	鳩沢 秀子
熊谷 哲雄	渡部 安夫	行天 隼司	末吉 光恵	古館 祐子
片田 幸夫	西尾不二子	坂本 秋広	山中 艶子	藤沢 玲子
船場 実	中村 恒男	辻 征二	長壁千代子	佐藤 恭子

※他匿名者多数

◎賛助会員【法人・団体】

(敬称略)

JAようてい京極支所	株式会社 中村組	京極町羊峰会	有限会社 古屋建設	有限会社 京極石油
株式会社 京極産業	京極町商工会	有限会社 藤沢デンキ	北海信用金庫京極支店	久保砕石工業株式会社
株式会社 桜組	株式会社 羊蹄清掃社	宗教法人 北神分教会	松浦建設株式会社	有限会社 マルダイ大木金物
株式会社 鈴木商事	川崎建設株式会社	宗教法人 光寿寺	役場課長親睦会	樋口電気工業株式会社
株式会社 高瀬製作所	菊地建設鋳業株式会社	宗教法人 広徳寺	有限会社 鎌田商店	(有)ミートショップ あんぼ
株式会社 道南富士コン	京極建設株式会社	宗教法人 龍門寺	有限会社 赤木農産	ようてい森林組合
株式会社 富成商店	菊地歯科医院	宗教法人 瑞法寺	ユニットケア慶和園	養護老人ホーム 慶和園

計35件

京極町社協の活動を応援してください ～賛助会員の募集～

京極町社会福祉協議会では、活動に協力していただける賛助会員を募集しています。
みなさまから頂いた賛助会費は、京極町の福祉サービスを推進する貴重な財源として、様々な事業に役立っています。京極町社協の活動に賛同いただける方につきましては、ぜひともご協力をよろしくお願い致します。

会費 一口…1,000円

問い合わせ先 ☎0136-42-3681
京極町社会福祉協議会事務局 担当 藤波

平成27年度 京極町生活サポートセンター活動報告

京極町社会福祉協議会では、平成26年10月から成年後見制度の利用や権利擁護に関する相談受付、成年後見人等の受任、市民後見人の養成とフォローアップを行なう役割を担った京極町生活サポートセンターを開所しています。京極町生活サポートセンターでは認知症や精神や知的な障がいがあり、かつ身寄りがないなどの理由で4名の方の成年後見人等を受任しています。

今回は成年後見人が被後見人等（利用者）に対して現在、実際にどのようなお手伝いをしているのか現時点でのご報告いたします。

財産管理関係

番号	お手伝いの内容	例
①	不動産の売却	施設入所にともない、家屋と土地の売却を行なう
②	賃貸借契約解除	施設入所にともない、町営住宅の契約を解除した
③	通帳の管理	預貯金の払い戻しや振り込みなど
④	年金などの諸手続き	年金の受取確認など
⑤	定期的な支出を要する費用支払い手続き	公共料金や家賃の支払いなど

相続関係

番号	お手伝いの内容	例
①	相続の承認	未相続遺産（不動産）の承認

身上監護関係

番号	お手伝いの内容	例
①	入所に関する契約	退院に伴う施設入所契約や毎月の支払
②	介護サービスの利用契約など	ケアプランや介護計画の承認

その他

番号	お手伝いの内容	例
①	行政機関の発行する証明書の請求	住民票や戸籍謄抄本、登記事項証明書などの請求

被後見人等（利用者）の個性や生活史、現在の困り事などによってさまざまなお手伝いがあります。一つ一つのハードルに、裁判所をはじめ弁護士や司法書士などの専門職、福祉サービス事業者や他町村の社会福祉協議会、被後見人などを支えてくれている住民の皆さんと取り組んでいるところです。

今後も被後見人等（利用者）さんの思いを最大限大切に活動したいと考えています。

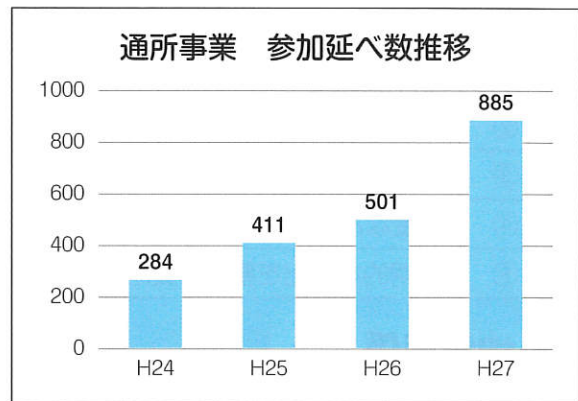
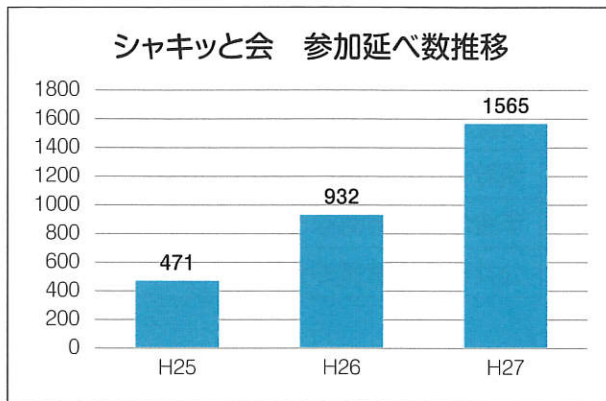


京極町介護予防センター

○平成27年度事業報告

- ① **一次予防事業** :各団体への講話・社協イベントでの普及啓発では、認知症予防に効果のある「コグニサイズ」の実技を行う機会が多くありました。**シャキット会**の参加実数は微増ですが、延べ数は大幅に増加しています。
- ② **二次予防事業** (3月から総合事業へ切り替え) :要支援相当または通年で運動が必要な方のため**ミニデイサービスにこっと**、運動機能維持のため**スカット会** (3か月間×3回)、認知機能維持のため**脳活くらぶ** (6か月間) を開催しました。

* 下のグラフに示した通り、介護予防に取り組む方が年々増加していることがわかります。



○平成28年度事業計画

4月	ミニデイサービスにこっと (口腔機能月間)	春の脳力アップ教室	シャキット会	ふまねっとサロン ニュースポーツサロン
5月		初夏の筋力アップ教室		介護予防通信(春)発行
6月				
7月				
8月	(口腔機能月間)			介護予防通信(夏)発行
9月	(栄養改善月間)	秋の筋力アップ教室	(体力測定月間・6分間歩行テスト)	
10月		秋の脳力アップ教室		
11月				介護予防通信(秋)発行
12月	(口腔機能月間)			
1月		冬の筋力アップ教室		
2月				介護予防通信(冬)発行
3月	(栄養改善月間)		(体力測定月間)	

* 上記事業のほかに、今年度は近所の仲間と気軽に始められる「ちょこっと体操」の普及も行う予定です。

- 「ちょこっと体操」とは・・・
- どなたでも気軽に来れる体操です。年齢とともに衰えやすい足腰・脳・口の機能の維持向上に効果のある内容になっています。DVDを見ながら約30分間行います。



旭町町内会スタミナ会

京極町地域包括支援センター

平成27年度事業報告
平成28年度事業計画

今年度も行政と共に地域包括ケアシステムの整備に取り組みます

『地域包括ケアシステム』とは、『高齢者が住み慣れた地域で、尊厳ある生活を可能な限り継続できる体制』のことです。

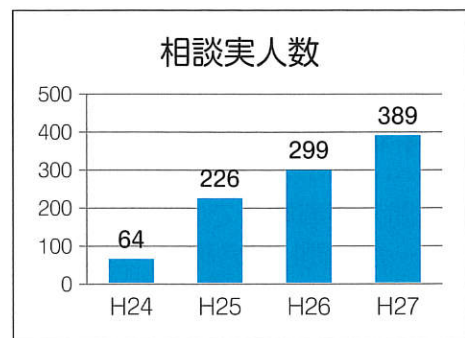


1. 認知症になっても住み慣れたこの町で暮らし続けられるよう、認知症にやさしいまちづくりを推進していきます。
 - ①認知症初期集中支援チームの活動開始
 - ②認知症サポーター養成講座の開催
 - ③あんしんネットワークの啓発普及
 - ④オレンジカフェのオープン（認知症の方を介護する家族を支える場づくり）
2. 地域ケア会議をより一層充実していきます。
 - ①困難事例の課題解決や、地域の課題発見のために地域ケア個別会議を活発に開催します
 - ②行政と共に、京極町保健医療福祉介護連携協議会の有する機能を充実させていきます
3. 総合事業（介護予防・生活支援サービス事業及び一般介護予防事業）、生活支援体制整備事業（協議体及び生活支援コーディネーター）を通じた地域づくりに積極的に参画していきます。
4. 民生委員と共に高齢者把握訪問を続け、避難支援体制や見守り体制の構築に向け、行政や社協と協議を重ねていきます。

～昨年度の主な活動～

1. 高齢者の相談状況

内容	相談実人員	相談延人数
介護保険などサービス利用に関すること	300名	488名
権利擁護に関すること (成年後見制度など)	4名	10名
高齢者虐待に関すること	9名	19名
高齢者把握訪問	76名	77名
計	389名	594名



2. 認知症サポーター養成講座

- 7回開催 193名養成
- 京極町の認知症サポーター数 実254名 延357名に

3. 講演会の開催

- 介護予防講演会「これからの町の医療福祉はどうなるの？」
ひまわりクリニックきょうごく 前沢 政次 所長
- 権利擁護後援会「守ろう!お金といのち」
ようてい地域消費生活相談窓口 池田 まゆみ 相談員
俱知安警察署京極駐在所 西楨 文雄 所長
- 地域包括ケア勉強会「ひろげよう支えあいのまちづくり」
ウェルビー・デザイン 篠原 辰二 理事長



居宅介護支援事業所

平成27年度事業報告と平成28年度事業計画について

居宅介護支援事業所では在宅で生活される高齢者の希望に寄り添い、町内外の関係機関との連携を図り希望する限り自宅での生活が行えるように支援を行いました。一昨年度から比較すると在宅で何らかの介護保険サービスを利用し生活継続されている方は増加傾向で、特に一人暮らし世帯が増えており、自宅での生活を希望される方については町内外との連携を図り自宅で生活するための体制作りが整備されてきたと思われまます。その一方で、病気の進行に伴い町外の医療機関で療養を必要としたケース、町外の家族との同居を開始したケースがありました。

今年度は本人、ご家族が自宅で支援を希望される際に相談窓口の体制作り等支援範囲の拡大に備えた体制作りを目指し、関係事業所との連携・情報共有を図り、昨年度に引き続き介護支援専門員としての資質向上に向けた取り組みを行ってまいります。



訪問介護事業所

いつまでも自宅で暮らしたいという皆さんのお手伝いをさせていただくのが訪問介護事業所の役割です。

今年度は職員体制が変わりましたが、以前と変わらぬサービスが提供できるよう職員一同頑張っております。(片桐・城田・高市)



近年の利用状況と平成28年度の活動方針

訪問介護事業所では町内の要介護度1～5に認定されている概ね35名の方を対象にホームヘルパーが訪問して各種サービスを提供しています。

訪問介護サービスは大きく3つに分類されます。

- ①買物代行、調理、掃除などの生活援助。
- ②付き添いが必要な通院や家庭での入浴、排せつ介助などの身体介護。
- ③付き添いまではいらぬが車の乗り降りが困難な方の通院等乗降介助。



この1～2年は要介護度の高い方の施設入所が相次ぎ、結果として要介護度1～2の通院付き添いの比率が増えることになっています。

今まで対象となっていた「要支援」の方は平成28年3月より担当が予防センターに移行し、今後は国の方針もあって、「要介護」の方のみを対象としていくことになっています。

今年度はヘルパー3名体制で月間およそ100件の訪問介護サービスに取り組んでまいります。

デイサービスだより

平成27年度利用状況報告

項目	延べ人数	前年比
要介護1~5	3,652人	-646人
要支援1~2	980人	-460人
合計	4,632人	-1,106人
稼働日数	255日	-2日
1日平均	18人	-4人



【平成27年度新規利用者・終了者】

新規利用者

項目	27年度	26年度	前年比
要介護者	12名	14名	-2名
要支援者	2名	4名	-2名
合計	14名	18名	-4名

利用終了・休止

	27年度	26年度	前年比
合計	5名	25名	-20名

平成26年度は利用者の施設入所、入院、死亡等で前年度の利用者数を下回りましたが、平成27年度も体調不良や長期入院により利用者数が大幅に減少しました。

また、「介護予防・日常生活支援総合事業」の開始に伴い要支援の方がデイサービスから介護予防事業へ移行したことも減少の要因だと考えられます。

平成28年度も前年度から引き続き個々人の課題に寄り添い、個別サービスの内容を充実させ、自分らしい自立した生活が送れるよう支援のお手伝いをしていきます。

職員体制が変わりました

平成28年4月より職員体制が変わりました。今後も京極町デイサービスセンターをよろしくお願いいたします。

生活相談員	後藤田 高志		
介護員	大迫 里美	佐古岡 ひろみ	難波 久美子
	水野 京子	森 智子	
看護師	高木 十代子		
機能訓練指導員	木下 早綾佳		

笑顔、交流 あふれる そば打ち体験!

やさしい福祉入門講座

3月12日(土)に開催
しました!



社会福祉協議会、ボランティアセンターについて町のみなさんに気軽に知ってもらいたいとの思いから、やさしい福祉入門講座にてそば打ち体験を行いました!!

京極町そば愛好会の協力のもと、講師として喜茂別町よりグループ双葉、札幌市より手打ちそばぐる〜ぶ白花のみなさんをお招きし開催しました。京極町そば愛好会のご厚意で京極産のそば粉を提供いただき、打ち立てのそばを試食しました。

そば打ち体験を申し込まれた方13名には、家族やお友達を見学・試食会に招待していただきました。交流しながらそば打ち体験と見学も楽しまれ、出来上がったそばも美味しいと喜びの笑顔が見られました!体験・見学・協力者も含め61名の参加がありました。



今回初めて福祉センターを訪れた方もおり、社会福祉協議会を身近に感じていただくきっかけとなりました。また、講師の懸命な教えに感動し、町の人のために何かでお返ししたいという声も届きました。多くの皆さまのご協力ありがとうございました!!

参加者の感想 (アンケートより)

- ・ 入門講座、初めての参加でしたが、意外と楽しく自分の趣味に合えば又参加を考えたいです。
- ・ 体験+試食と皆で作る内容が良かったと思います。
- ・ 参加してとてもよかったです。会うことがない人に会うことができ、とてもおいしかったです。
- ・ 手打ちそばでだしもとてもおいしかったです。ありがとうございました。
- ・ 一生懸命な姿に感動、良い機会を作ってくれた事に感謝です。



寄付・寄贈に感謝いたします

【期間】3月~5月

【寄 贈】 大木 ハツ工様

【寄 付】 古屋 清子様より、京極町の福祉の為として
林 美枝子様より、夫の故 林 良一様の生前のお礼として
加賀谷 正子様より、京極町の福祉の為として
板谷 重子様より、京極町の福祉の為として
阿部 尚泰様より、京極町の福祉の為として
狩野 朝子様より、夫の故 狩野 英男様の生前のお礼として
上村 由三様より、父の故 上村 竹次様の生前のお礼として
櫻 トシ子様より、京極町の福祉の為として